

各教科等の特質に応じた「見方や考え方」に関する資料
(各部会・ワーキンググループで検討中の案)

国語科における学びと教科の特質に応じ育まれる「見方・考え方」との関係性について（イメージ案）

平成28年4月20日
教育課程部
国語ワーキンググループ
資料2

（総則・評価特別部会資料より抜粋）

「見方や考え方」とは、**様々な事象等を捉える各教科等ならではの視点**や、**各教科等ならではの思考の枠組み**であると考えられる。こうした「見方や考え方」と育成すべき資質・能力の関係性について、以下のような整理ができるのではないか。

- ・「見方や考え方」は、知識・技能を構造化して身に付けていくために不可欠である。「見方や考え方」を働かせながら、知識・技能を習得したり、知識・技能を活用して探究したりすることにより、知識を他と関連づけて定着させたり、構造化された新たな知識として習得したり、技能を習熟・熟達させたりすることができる。
- ・「見方や考え方」が成長することにより、思考力・判断力・表現力が豊かなものとなり、より広い領域や複雑な事象をもとに思考・判断・表現できる力として育成されていく。
- ・学びに向かう力や人間性の育成には、どのような「見方や考え方」を通じて社会や世界にどのような関わるといえるかが大きく作用している。

（どのような視点で捉えるか）
言葉の働きを捉えること

言葉で表現されたもの
言葉による表現そのもの

（どのような枠組みで思考するか）

国語で表現し理解すること（創造的・論理的思考の側面、感性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面）を通して、自分の思いや考えを形成し深めること＝資質・能力の思考力・判断力・表現力等

【国語科における学び】

国語で表現し理解することを通じて、言葉の働きを捉えるとともに、自分の思いや考えを形成し深めること

小・中・高等学校で一貫した目標(指標形式の目標を含む)の下で、発達段階に応じた「学習プロセス」を経ることによる思考力や判断力の深まり、外国語による表現力の向上、主体的・自律的に学習する態度の育成などを通じ、的確に理解し適切に伝え合うコミュニケーション能力を育成

資質・能力の例

小学校(中学年)

簡単な語句や表現に慣れ親しみ、自分のことや身の回りのことについて、友達に質問したり質問に答えたりしようとするとコミュニケーション能力の素地

小学校(高学年)

馴染みのある表現を使って、自分の好きなものや一日の生活などに、友達に質問したり質問に答えたりするコミュニケーション能力の基礎

中学校

○具体的に身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合う能力
○聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりして発信するコミュニケーション能力

高等学校

○日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりするコミュニケーション能力
○聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりして発信するコミュニケーション能力

指標形式の目標(「話すこと」の例)

小学校(中学年)

(例)
・自分や身の回りのごく限られたことについて、自分の気持ちなどを伝えようとするとする。

小学校(高学年)

(例)
・身近で簡単なテーマについて、初歩的な英語で簡単なスピーチをすることができるようになる。

中学校

(例)
・身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようになる。

高等学校

(例)
・身近な話題や知識のある話題について、簡単な外国語を用いて情報や意見を交換し合うことができるようになる。

思考力・判断力・表現力、主体的・自律的な態度に基づく、的確に理解し適切に伝え合うコミュニケーション能力の育成

【見方や考え方の例】

外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に表現し伝え合うこと



目的に応じたコミュニケーションのプロセス

【学習プロセス】

- ① 目的の設定・理解
- ② 目的に応じた発信までの方向性の決定・言語活動等の見直し
- ③ 目的達成のための言語活動(技能統合型)
- ④ まとめと振り返り

次の活動へ

※詳細は次ページ参照

「見方や考え方」の成長・発展

概念的な知識の獲得

思考力・判断力・表現力の育成

情意・態度の育成

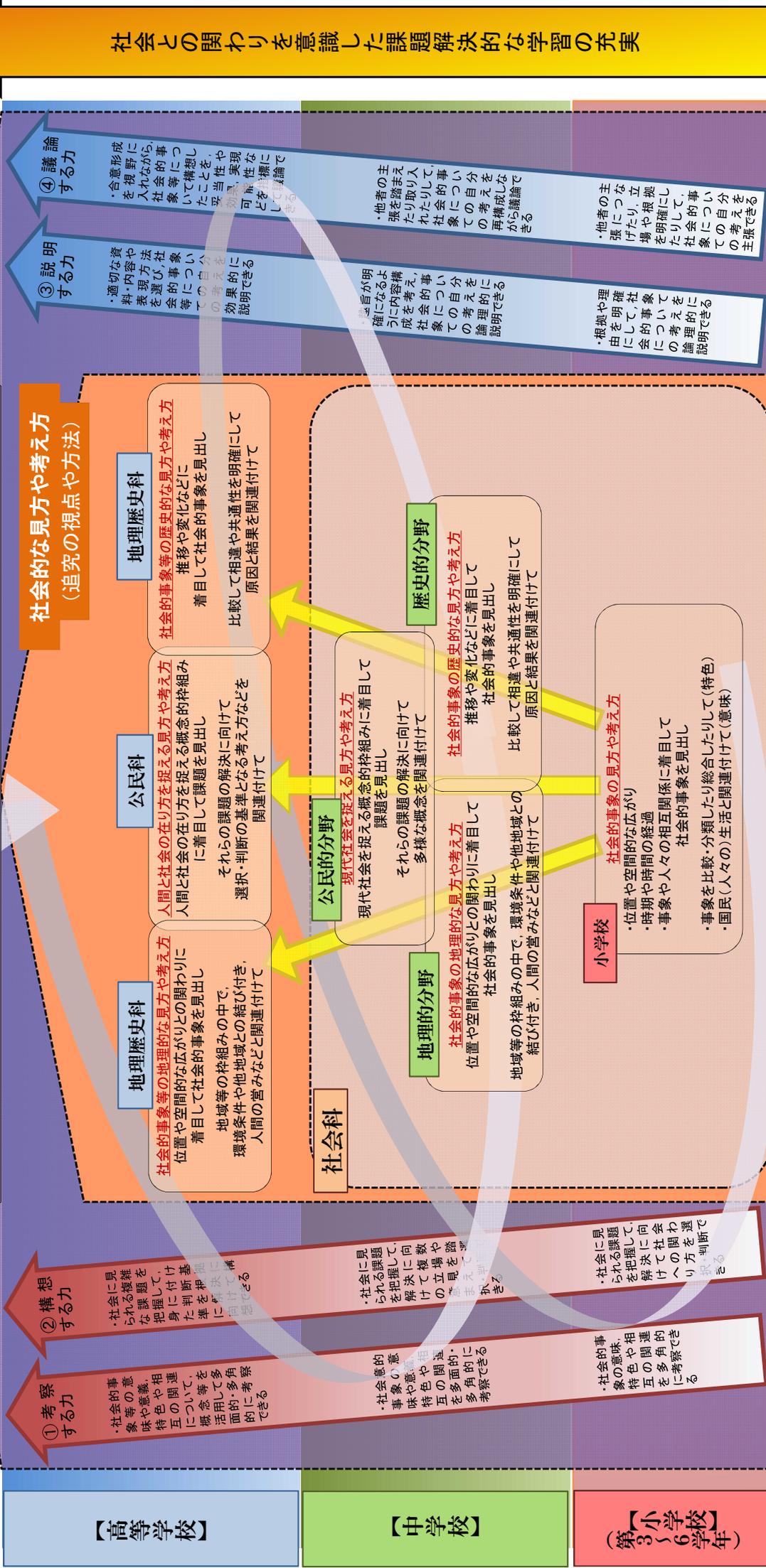
・対話的な学び
・深い学び
・主体的な学びへ

「社会的な見方や考え方や思考力、判断力、表現力等」イメージ（たたき台）

思考力、判断力、表現力等

社会的な見方や考え方をを用いて、社会の在り方や社会的事象(等)の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力(①)
社会的な見方や考え方をを用いて、社会に見られる課題を把握して、それらの解決に向けて構想する力(②)
考察したことや構想したことを説明する力、議論する力(③④)

※「社会的な見方や考え方は、小・中・高等学校の各「見方や考え方を総称する呼称である。」



社会との関わりを意識した課題解決的な学習の充実

伝える、相互交流する、振り返るなどの表現

感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由に言いなり、つくったりなど
したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する

生活科

思考力、表現力の基礎の育成

比較する、分類する、関連付けるなどの思考

身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ
生活に関係の深い情報や施設などに興味や関心を持つ

【小学校】
第1、2学年

幼児教育

【小学校】
第3、4、5、6学年

【中学校】

【高等学校】

社会的な見方や考え方 (追究の視点や方法) の例 (たたき台)

平成28年4月27日
教育課程部社会・地理歴史・公民
ワーキンググループ
資料8

※

社会的な見方や考え方は、小・中・高等学校の各「見方や考え方」を総称する呼称であり、社会的現象(等)の「問い」の例

社会、地理歴史、公民における思考力、判断力

小学校社会

考えられる見方や考え方例

- 位置や空間的な広がり、視点的、相対的、地理的位置、分布、地形、環境、気候、範囲、地域、構成、自然条件、社会的条件、土地利用など
- 時期や時間の経過の視点
時代、起源、由来、背景、変遷、発展、継承、維持、向上、計画、持続可能性など
- 事象や人々の相互関係の視点
工夫、努力、願い、業績、働き、つながり、関わり、仕組み、協力、連携、対策、事業、役割、影響、多様性と共生(共に生きる)など

追究の視点を生かした、考察や構想に向かう「問い」の例

- ・どのように広がっているのだろうか
- ・なぜこの場所に集まっているのだろうか
- ・地域によって気候が異なるのはなぜだろう
- ・いつどんな理由で始まったのだろうか
- ・どのように変わってきたのだろうか
- ・なぜ変わらずに続いているのだろうか
- ・どのような工夫や努力があるのだろうか
- ・どのようなつながりがあるのだろうか
- ・なぜ○○と○○の協力が必要なのだろうか
- ・どのように続けていくことがよいのだろうか
- ・共に生きていく上で何が大切なのだろうか

追究の方法

◎社会的現象の見方や考え方

- 位置や空間的な広がり
- 時期や時間の経過
- 事象や人々の相互関係
- 比較・分類したり総合しして
- 国民(人々の)生活と関連付けて

に着目して社会的現象を見出し

考察

- 社会的現象の特色や相互の関連を多角的に考察する力

構想

- 社会に呈される課題について、社会の関わり方を選択・判断する力

地理的分野

- 位置や分布に関わる視点
絶対的、相対的、規則性、傾向性、地域差 など
- 場所に関わる視点
自然的、社会的 など
- 人間と自然の相互依存関係に関わる視点
環境依存性、伝統的、改善、保全 など
- 空間的相互依存作用に関わる視点
関係性、相互性 など
- 地域に関わる視点
一般的共通性、地方的特殊性 など

混交の方法

◎社会的現象の地理的な見方や考え方

- 位置や空間的な広がりとの関わりに着目して社会的現象を見出し
- 地域等の枠組みの中で、環境条件や他地域との結び付き、人間の営みなどと関連付けて

考察

- 社会的現象の特色や相互の関連、意味を多面的・多角的に考察する力

構想

- 地域に呈される課題の解決に向けて、複数の立場や意見を踏まえ選択・判断する力

地球上の地点は、絶対的、相対的に表現できること
(具体例、明石市は大阪市の西にあり、その市立天文科学館は日本標準時子午線上の北緯34度38分、東経135度04分にあります)

特定の事象は、地球の一年中範囲において特定の範囲に広がること
(具体例、アカハ川流域の一年中範囲が多様な地形を有する地域には、常緑の密生地帯が広がっています)

地球上の各地は、固有の性格があること
(具体例、広島市の沿岸部は、低平な三河州となっています)

人々の生活は自然の影響を受けるとともに、それを変化させること
(具体例、平野の乏しい日本では、その傾斜地を段々畑や棚田として利用してきました)

場所は相互に関係を持ち、影響を及ぼし合うこと
(具体例、多くの人口を抱えた大消費地東京の周辺では、新鮮な農産物を生産し、都市の住民に届ける近郊農業が盛んであります)

空間的な広がりがあり、まとまりのある固有の特徴を持つこと
(具体例、中国地方の山間部では、人口減少や高齢化の進む過疎化に悩む地域が広がっています)

地域には、よりよい姿が求められること
(具体例、地震や豪雨、台風など自然災害を受けるときの多い日本では、被害を最小限に食い止めるため、各地の自然環境に応じ、災害に強いまちづくりを進めることが大切です)

歴史的分野

- 年代の基本に関わる視点
時期、年代、時代区分 など
- 諸事象の推移や変化に関わる視点
変化、発展、時代の転換 など
- 諸事象の特色に関わる視点
関連、共通性、時代の特色 など
- 事象相互の関連に関わる視点
原因、背景、わららい、結果、影響、意味、意義 など

追究の方法

◎社会的現象の歴史的な見方や考え方

- 推移や変化などに着目して社会的現象を見出し
- 比較して相違や共通性を明確にして
- 原因と結果を関連付けて

考察

- 時代の転換の様子や各時代の特色を多面的・多角的に考察する力

構想

- 歴史に見られる諸課題について、複数の立場や意見を踏まえ選択・判断する力

9世紀の初め、唐に渡った最澄と空海は、帰国後に仏教の新しい宗派を伝えた

15世紀後期の動乱を経て室町幕府の統一の支配は弱まり、各地の大名による領国の支配や、民衆による自治的な結合が進んでいった

豊かなアジアの富に対する関心やイスラム諸国との接触(対立と文化交流)を背景にヨーロッパ人が海外に進出した

近世は、江戸幕府の安定した全国支配体制が形成され、産業、通商や町人文化が隆盛をみた時代であった

ヨーロッパの市民革命を経て広まった自由と平等を理想とする社会への変革は、欧米のみならず、次第にアジアの近代化にも影響を及ぼした

真アジアの冷戦の激化は、戦後の日本に対する占領政策や経済復興、国際社会への復帰などに大きな影響を与えた

歴史上の選択や判断の積み重ねが時代を築き、今後の社会を創造する(具体例、幕末には、当時の日本が選んだ明治の理解の遅いから対立が生じ、その課題を解決するために選択、判断が重ねられた結果、明治維新への変革へと導かれた)

市場経済において個々人や人々は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するかを選択すること、また、価格には、何をどれだけ生産・消費するかに関わって、人的・物的資源を効率よく配分する動きがあることなどが、市場経済の基本的な考え方である

民主的な社会における法は、国民生活の安定と福祉の向上を目指し、国民の意思のあらわれとして国民の代表によって構成される議会によって制定されるものであり、国や地方公共団体は、国民の自由と権利を侵さないようにそうした法の拘束を受けながら政治を行っている

合意の妥当性を判断する際に、無駄を省く「効率」と決定の手続きや内容についての「公正」が必要である

財政に関して、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえ、財源の確保と望ましい配分について対立と合意、効率と公正などの視点から多面的に考察・判断することが大切である

民主政治を推進するために向かえる必要か

世界平和と人類の福祉の増大のためにどのようなことができるか

公民的分野

- 現代社会を捉える視点
対立と合意、効率と公正、個人の尊重、自由、平等、選択、配分、法的安定性、多様性 など
- 社会に見られる課題の解決を構想する視点
対立と合意、効率と公正、自由・権利と責任・義務、財源の確保と配分、利便性と安全性、国際協調、持続可能性 など

追究の方法

◎現代社会を捉える見方や考え方

- 現代社会を捉える概念の枠組みに着目して課題を見出し
- それらの課題の解決に向けて多様な概念を関連付けて

考察

- 社会的現象の意味や意義を多面的・多角的に考察する力

構想

- 複数の立場や意見を踏まえ選択・判断する力

市場経済において個々人や人々は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するかを選択すること、また、価格には、何をどれだけ生産・消費するかに関わって、人的・物的資源を効率よく配分する動きがあることなどが、市場経済の基本的な考え方である

民主的な社会における法は、国民生活の安定と福祉の向上を目指し、国民の意思のあらわれとして国民の代表によって構成される議会によって制定されるものであり、国や地方公共団体は、国民の自由と権利を侵さないようにそうした法の拘束を受けながら政治を行っている

合意の妥当性を判断する際に、無駄を省く「効率」と決定の手続きや内容についての「公正」が必要である

財政に関して、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえ、財源の確保と望ましい配分について対立と合意、効率と公正などの視点から多面的に考察・判断することが大切である

民主政治を推進するために向かえる必要か

世界平和と人類の福祉の増大のためにどのようなことができるか

社会的な見方や考え方の追究の視点や方法(例②)

資料目目は全て仮称である

地理総合

○位置や分布に関わる視点 時間距離、時差 等質(均質、同質)、類似 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
--	--

地理総合

○位置や分布に関わる視点 中心性 経済距離 単一指標、複数指標、総合(指標) など	追究の視点に向かう「問い」の例 それが、そこに位置する意味(意義、役割、影響)は何だろうか それが、そのように分布する意味は何だろうか そこが、そのような場所である意味は何だろうか そこでの生活が、まわりの自然環境からどのような影響を受けているのだろうか そこでの生活が、まわりの自然環境にどのような影響を与えているのだろうか そこが、それ以外の場所とどのような関係を持っている意味は何だろうか その地域がそのような特徴があるのはどういう意味があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
--	--

地理総合

○場所に関わる視点 立地、景観、民族性 など	追究の視点に向かう「問い」の例 そこが、そのように位置する意味(意義、役割、影響)は何だろうか そこが、そのように分布する意味は何だろうか そこが、そのような場所である意味は何だろうか そこでの生活が、まわりの自然環境からどのような影響を受けているのだろうか そこでの生活が、まわりの自然環境にどのような影響を与えているのだろうか そこが、それ以外の場所とどのような関係を持っている意味は何だろうか その地域がそのような特徴があるのはどういう意味があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
---------------------------	--

地理総合

○空間的相互依存作用に関わる視点 移動性、圏構造(都市圏…), グローバル化 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
--	--

地理に関わる探究科目

○人間と自然の相互依存関係に関わる視点 環境可能性、環境決定論 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
---------------------------------------	--

地理に関わる探究科目

○空間的相互依存作用に関わる視点 中枢管理機能、階層性 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
-----------------------------------	--

地理に関わる探究科目

○地域に関わる視点 構造、分化 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
-----------------------	--

地理に関わる探究科目

○年代の基本に関わる視点 時期、年代、時代 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
-----------------------------	--

歴史総合

○諸事象の推移や変化に関わる視点 変化、継続、転換 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
---------------------------------	--

歴史総合

○諸事象の特色に関わる視点 相連、共通性 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
----------------------------	--

歴史総合

○事象相互の関連に関わる視点 原因、背景、ねらい、結果、影響、意味、意義 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
--	--

歴史総合

○年代の基本に関わる視点 時期、年代、時代 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
-----------------------------	--

世界史に関する探究科目

○諸事象の特色に関わる視点 相連、共通性、多様性、複合性、相互依存性、多元性 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
--	--

世界史に関する探究科目

○事象相互の関連に関わる視点 原因、背景、ねらい、結果、影響、意味、意義 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
--	--

世界史に関する探究科目

○年代の基本に関わる視点 時期、年代、時代 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
-----------------------------	--

世界史に関する探究科目

○諸事象の推移や変化に関わる視点 変化、継続、転換 など	追究の視点に向かう「問い」の例 それは、なぜそこに位置するのだろうか それは、なぜそのように分布しているのだろうか それは、なぜそのように場所になったのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろうか そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろうか それは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているのだろうか その地域はなぜそのような特徴があるのだろうか それは、(どこ)にある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる)べきなのだろうか
---------------------------------	--

社会的事象等の地理的な見方や考え方

位置や空間的な広がりとの関わりに着目して社会的事象等を見出し、比較して相連や共通性を明確にして、原因と結果を関連付けて

考察
地理に関わる諸事象等を地域という枠組みの中で考察する力

構想
そこで生起する課題を解決に向けて構想(選択・判断)する力

追究の方法

社会的事象等の歴史的な見方や考え方

推移や変化などに着目して社会的事象等を見出し、比較して相連や共通性を明確にして、原因と結果を関連付けて

考察
歴史の転換の様子や変化の特色、意味を多面的・多角的に考察する力

構想
歴史に見られる諸課題について、複数の立場や意見を踏まえて構想(選択・判断)する力

追究の方法

社会的事象等の地理的な見方や考え方

位置や空間的な広がりとの関わりに着目して社会的事象等を見出し、比較して相連や共通性を明確にして、原因と結果を関連付けて

考察
地理に関わる諸事象等を系統的・地理的に考察する力

構想
そこで生起する課題を解決に向けて構想(選択・判断)する力

追究の方法

社会的事象等の歴史的な見方や考え方

推移や変化などに着目して社会的事象等を見出し、比較して相連や共通性を明確にして、原因と結果を関連付けて

考察
歴史の転換の様子や変化の特色、意味を多面的・多角的に考察する力

構想
歴史に見られる諸課題について、複数の立場や意見を踏まえて構想(選択・判断)する力

追究の方法

社会的事象等の地理的な見方や考え方

位置や空間的な広がりとの関わりに着目して社会的事象等を見出し、比較して相連や共通性を明確にして、原因と結果を関連付けて

考察
地理に関わる諸事象等を地域という枠組みの中で考察する力

構想
そこで生起する課題を解決に向けて構想(選択・判断)する力

追究の方法

社会的事象等の歴史的な見方や考え方

推移や変化などに着目して社会的事象等を見出し、比較して相連や共通性を明確にして、原因と結果を関連付けて

考察
歴史の転換の様子や変化の特色、意味を多面的・多角的に考察する力

構想
歴史に見られる諸課題について、複数の立場や意見を踏まえて構想(選択・判断)する力

追究の方法

考察、構想した結果、獲得する知識、概念の例

地球上の地点は、絶対的、相対的に表現できること
(具体例: 日付変更線は基本的には180度の経線に沿うが、国内の時差を回避するなどの理由で何か所も折れ曲がっている)
地球上の各地は、多様な特徴を持つこと
(具体例: 東南アジアの高温多湿な気候は多様な農業を育み、シベリアの凍土帯では住宅内の炉を造るがため、いずれも高床式住居が建設されている)
人々の生活は自然の影響を受けるとともに、それを変化させること
(具体例: サハラ砂漠の南に広がるサヘル地域では、過度な放牧や農耕、薪の採取などにより砂漠化が進んでいる)
場所相互に相互に関係を持ち、影響を及ぼし合うこと
(具体例: 朝鮮に苦しむ義兵隊は上国への食料供給には、人道的な側面とともに政治的諷刺や間接的な間接的な影響を及ぼしている)
空間的な広がりや距離は、固有の性格を持ち、変容すること
(具体例: 東洋と西国とは、政治や経済、文化、情報などの機能が首都に一種集中し、地域格差が拡大している国がある)

特定の事象は、地球の表面において特定の範囲に広がること
(具体例: ナンゴニアに起因する文化的にはナンゴニアに属し、南北アメリカ大陸を
経済的、文化的に隔ち、回廊となっている)
地球上の各地は、多様な特徴を持つこと
(具体例: 大都市の中心には、行政機関や大企業の本社等が集まり、政治や経済の中枢管理機能が集積している)
人々の生活は自然の影響を受けるとともに、それを変化させること
(具体例: 東南アジアの沖積平野では、モンスーン等の自然条件を生かした集約的な耕作農業が盛んである)
場所は相互に関係を持ち、影響を及ぼし合うこと
(具体例: 相対的に広い範囲にわたって、住宅や工場が無秩序な展開を及ぼしている)
空間的な広がりや距離は、固有の性格を持ち、変容すること
(具体例: ナンゴニアに起因する文化的にはナンゴニアに属し、南北アメリカ大陸を
経済的、文化的に隔ち、回廊となっている)
地球上の各地は、多様な特徴を持つこと
(具体例: 大都市の中心には、行政機関や大企業の本社等が集まり、政治や経済の中枢管理機能が集積している)
人々の生活は自然の影響を受けるとともに、それを変化させること
(具体例: 東南アジアの沖積平野では、モンスーン等の自然条件を生かした集約的な耕作農業が盛んである)
場所は相互に関係を持ち、影響を及ぼし合うこと
(具体例: 相対的に広い範囲にわたって、住宅や工場が無秩序な展開を及ぼしている)
空間的な広がりや距離は、固有の性格を持ち、変容すること
(具体例: ナンゴニアに起因する文化的にはナンゴニアに属し、南北アメリカ大陸を
経済的、文化的に隔ち、回廊となっている)

16世紀には、諸大陸を結びつける国際商業が活性化し、アジアの諸帝国が繁栄した。豊かな富を求めてアジアに進出した西欧との交流も盛んに行われた。
19世紀の欧米や日本は、工業化や政治変遷の過程を経て、新たな国家のしくみを生み出し、世界と日本のつながりが一層深まった。
19世紀のヨーロッパ諸国の進出に対して、日本やアジア諸国においては様々な対応策が生まれ、ナショナリズムが形成された。
20世紀には、科学技術やマスメディアが発達し、人・モノ・情報の移動が加速化し、大衆の政治や経済、文化活動への参加が拡大した。
市場経済の進展とともに、国内外で富の格差をめぐる問題が顕著となり、富の再分配をめぐる動きが起る一方、国際社会では支配と従属関係が深まった。
大戦時における総力戦体制の構築は、戦後の国家と国民、国際秩序の在り方に新たな変化を生み出した。
経済開発と環境保全をめぐめる問題は、豊かな生活の在り方や人間の生き方を再考させた

歴史的な諸事象の意味を説明する際は、直接的な因果関係はもちろん、歴史の転換や、他地域との比較による特徴の抽出などにも留意することが大切である

人類は、世界各地の自然環境に適応し、農耕や牧畜を基礎とした諸文明を形成し、やがて諸地域ごとのまとまりを生み出した
ユーラシアの海・陸のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が活発化し、新たな地域世界の形成や再編が進んだ
アジアの繁栄や西洋諸国の拡大を背景に、諸地域世界の交流が活発化し、西洋諸国の工業化は世界の構造のつながりを生み出した
科学技術の発達や生産力の発展は、地球規模での世界の一体化を加速させた
19世紀後期から20世紀初期にかけておこった産業構造の変化は、帝国主義政策を生み出し、軍事力に基づく世界分割が進んだ
冷戦の終結後の国際経済の連携の動きは、新たな地域統合をもたらし、新たな国際秩序を構築する動きが生まれた

歴史的な見方や考え方を踏まえ、自分の考えを論理的に説明すること
数の立場や意見に基づいて、諸資料に基いて、複数の立場や意見を踏まえ、自分の考えを論理的に説明すること

社会的な見方や考え方の追究の視点や方法 (追究の視点や方法) の例③

追究の視点を生かした、考察や構想に向かう「問い」の例

・いつ(どこで、誰によって)おこったのか
 ・何が、なぜ、どのように転換したのか
 ・何が、どのように推移したのか
 ・どのような変化が生じたのか
 ・どのような背景が生じたのか
 ・どのような時代(時期)だったのか
 ・なぜおこった(何のために)行われたのか
 ・どのような関係性が見いだせるのか
 ・どのような意味や特色があるのか
 ・どのような点が現代と関係しているのか
 ・何が課題として残されたか
 ・どのような影響を及ぼす予題できるか
 ・なぜその判断をしたと考えられるか
 ・他にどのような選択が可能であったと考えるか
 ・どのように意義付けられたのか

○年代の基本に関わる視点
 時期、年代、時代区分 など
 ○諸事象の推移や変化に関わる視点
 継続、発展、時代の転換 など
 ○諸事象の特色に関わる視点
 相違、共通性、時代性、多様性、地域性、 など
 ○事象相互の関連に関わる視点
 原因、背景、ねらい、結果、影響、意味、意義 など
 ○諸事象の位置付けに関わる視点
 論理性、客観性、妥当性 など

・社会を成り立たせる背景にあるものは何か
 ・社会に参画し、他者と協働する倫理的主体として個人が判断するための手掛かりとなる考え方は何か
 ・人間としての在り方生き方について考えていくとはどのようなことか
 ・よりよい集団、社会の在り方とはどのようなものか
 ・政治的主体となるとはどのようなことか
 ・経済的主体となるとはどのようなことか
 ・公共的な場づくりや安全を旨とした地域の活性化のために、私たちはどのような関わり、持続可能な社会づくりの主体となればよいのか

○人間と社会の在り方を捉える視点
 幸福、正義、公正、個人の尊厳、自由、平等、寛容、委任、希少性、機会費用、利便性と安全性、多様性とアイデンティティ など
 ○公共的な空間に見られる課題の解決を構想する視点
 幸福、正義、公正、協働関係の共時性と通時性、比較衡量、相互承認、適正な手続き、民主主義、自由・権利と責任・義務、平等、財源の確保と配分、平和、持続可能性 など

・個人の人生をどう生きればよいか、生きることの意味は何か、人間とは何か
 ・他者とどう生き、社会でどう生きていけばよいか、良識ある公民としていかに在るべきか、いかに生きべきか
 ・人間は何を知ることができるのか、なぜ世界が存在するのか、人間はどのような位置づけで存在するのか
 ・哲学や宗教や芸術が何を問い、どのような答えを見出してきたか
 ・自然とどのように関わり合って生きればよいか、自然科学で知りうることと倫理学で求めることの違いはどこにあるか
 ・グローバル化が進む中で、異文化と共生し多様な文化が共存する国際社会を築くために考えるべきこととはどのようなことか

○人間としての在り方生き方を捉える視点
 善悪、生死、徳、愛、共感、幸福、義務、正義、個人の尊厳、公正、寛容、存在、真理、聖、美 など
 ○現代の倫理的諸課題の解決を構想する視点
 尊重、畏敬、創造、保全、自由、権利、責任、自立、協働、勤労、多様性、相互承認、平和、国際協働、持続可能性 など

・社会を捉える概念的枠組みに着目して社会の課題を見出し、それらの課題の解決に向けて選択・判断の基準となる考え方や政治、法、経済などに関わる理論を有機的に関連付けて
 ・政治の意義と機能はどのようなものであるか
 ・経済活動の意義はどのようなものであるか
 ・望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方はどのようなものか
 ・グローバル化が進む国際経済にあって、日本経済は今度どのようなことが望ましいと考えるか
 ・地域社会の発展と住民生活の向上のために、国と地方公共団体の関係の在り方や私たちの関わり方について、どのような選択・判断、合意形成を行うか

○社会を捉える視点
 個人の尊厳、効率、公正、自由、平等、委任、希少性、機会費用、選択、配分、分業、交換、利便性と安全性、多様性とアイデンティティ など
 ○社会に見られる課題の解決を構想する視点
 対立、協働、効率、公正、比較衡量、具体的な妥当性と法的安定性、相互承認、適正な手続き、民主主義、自由・権利と責任・義務、財源の確保と配分、平和、持続可能性 など

・社会を捉える概念的枠組みに着目して社会の課題を見出し、それらの課題の解決に向けて選択・判断の基準となる考え方や政治、法、経済などに関わる理論を有機的に関連付けて
 ・政治の意義と機能はどのようなものであるか
 ・経済活動の意義はどのようなものであるか
 ・望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方を考察、追究する際
 ・個人の人権、基本的な権利を基に様々な角度から主体的に考察することから持続可能な地域社会となる在り方を考察、追究することが大切である

○社会を捉える視点
 個人の尊厳、公正、自由、平等、委任、希少性、機会費用、選択、配分、分業、交換、利便性と安全性、多様性とアイデンティティ など
 ○社会に見られる課題の解決を構想する視点
 対立、協働、効率、公正、比較衡量、具体的な妥当性と法的安定性、相互承認、適正な手続き、民主主義、自由・権利と責任・義務、財源の確保と配分、平和、持続可能性 など

社会、地理歴史、公民における思考力、判断力

◎社会的事象等の歴史的な見方や考え方

追究の方法
 ・推移や変化などに着目して社会的事象等を見出し、比較して相違や共通性を明確にして
 ・原因と結果を関連付けて

考察
 ・日本の歴史の展開、伝統と文化の特色を多面的・多角的、総合的に考察する力

構想
 ・歴史上の人物の行動や事象の意義について、多様な資料を活用して構想(選択・判断)する力

◎人間と社会の在り方を捉える見方や考え方

追究の方法
 ・人間と社会の在り方を捉える概念的枠組みに着目して課題を見出し、それらの課題の解決に向けて選択・判断の基準となる考え方などを関連付けて

考察
 ・人間としての在り方生き方、社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察する力

構想
 ・複数の立場や意見を踏まえて、社会を形成する主体として構想(選択・判断)する力

◎人間としての在り方生き方を捉える見方や考え方

追究の方法
 ・人間としての在り方生き方を捉える諸概念に着目して現代の倫理的課題を見出し、それらの課題の解決に向けて選択・判断の基準となる考え方や哲学、宗教、芸術などに関わる理論を有機的に関連付けて

考察
 ・人間としての在り方生き方に関わる事象の意味や意義を多面的・多角的に考察する力

構想
 ・複数の立場や意見を踏まえて構想(選択・判断)する力

◎社会を捉える見方や考え方

追究の方法
 ・社会を捉える概念的枠組みに着目して社会の課題を見出し、それらの課題の解決に向けて選択・判断の基準となる考え方や政治、法、経済などに関わる理論を有機的に関連付けて

考察
 ・社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察する力

構想
 ・複数の立場や意見を踏まえて構想(選択・判断)、合意形成する力

考察、構想した結果、獲得する知識の例

・遺物や遺跡、様々な歴史資料は、現在の我が国の文化や伝統を考察する上で重要な手がかりとなってきた
 ・日本の古代国家の形成過程の背景の一つには、東アジア世界の文化の多様化が存在する
 ・中世の社会では、武士勢力や宗教勢力の拡大や、庶民の台頭など権力の多様化が新しい文化や地域的な発展を生み出した
 ・江戸時代初期の経済発展は、町人や富農に文芸の普及や生活文化の上昇をもたらした、文化の担い手を成長させた
 ・18～19世紀前半の経済・産業の成長は、一方で社会の矛盾を深め、新たな社会構造の構築を促し、明治維新へとつながっていた
 ・1920年代の経済状況は、人々の政治や社会に対する評価や要求に変化を生み、戦後日本経済の推移は、冷戦の国際状況と密接に関係して展開した

・人物や事象の歴史的な意義の判断に際しては、獲得した知識(概念)を活用し、諸資料に基づいて、複数の立場や意見を踏まえ、自分の考えを論理的に説明できることが大切である
 ・今まで受け継がれてきた蓄積や先人の取組、知恵などを踏まえ、様々な立場や文化等を背景にして社会が成立している
 ・「行為の結果として、個人の幸福とともに、社会全体の幸福を重視する考え方」と「行為の結果よりも、行為の動機となる人間の尊厳としての公正などを重視する考え方」があり、両者ともに活用し、自分も他者ともに納得できる解を見出すことが重要である

・「自分らしい生き方」を問い、自らの体験や悩みを振り返ることを通じて自らを成長させるとともに、人間は社会的な存在であることを認識し、対話を通じてお互いを高め合うことの両者によってよりよい公共的な空間を作り出していくことが大切である
 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用するのと、個人を起点として、自立・協働の観点から多様性を尊重して持続可能な地域づくりに向けた役割を担う主体となることが大切である
 ・価値あるよいものを探し、正しい行いを「選ぶ」が「買」でそれを実行する意志の強さを身に付けた後、他人を自指し生きる
 ・自由権の保障と公正・公平な社会にある人々への配慮も必要であるという考え方を手がかりとして「公平な社会」について考え続ける
 ・存在の不思議への驚きから知識への深い理解が生じること、正解が定めがたく関心ごと自体に意味がある問いがあり、これを問い考え続けることが大切であることに気付く

・倫理で考えるのは主に「べき」であるため、自然科学で考える「ある」とは異なるが、観察した事実を前提として繰り返された理論を現実の出来事とさらに観察し修正しながら、判断と理論を調整していくことが大切である
 ・重んじていくことが大切である
 ・政治とは広義には、個人あるいは集団の考え方や意見、利害の対立や衝突を調整して解決したりすることにより、社会の秩序を維持し統合を図る機能を意味している
 ・経済活動は分業と交換に基づき人間生活の維持・向上のためにに行われるものであり、いずれの社会でも、「何をどれだけ」、「どのような方法で」、「誰のために」生産すべきか、生産された財やサービスなどをどのようにして社会の構成員に分配し、いかに消費するかという経済的選択の問題を解決しなければならぬものである
 ・望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方を考察、追究する際
 ・個人の人権、基本的な権利を基に様々な角度から主体的に考察することから持続可能な地域社会となる在り方を考察、追究することが大切である

事象を数理的に捉え，数学的に表現し処理するとともに，論理的に考え，統合的・発展的に考察する。

高等学校 数学	事象を数理的に捉え，数学的に表現し処理するとともに，論理的に考え，統合的・発展的，体系的に考察する。
中学校 数学	事象を数理的に捉え，数学的に表現し処理するとともに，論理的に考え，統合的・発展的に考察する。
小学校 算数	事象を数理的に捉え，数学的に表現し処理するとともに，帰納的・類推的・演繹的に考え，統合的・発展的に考察する。

自然の事物・現象を量的・関係的、質的・実体的、多様性・共通性、時間的・空間的などの視点で捉え、探究の過程を通して科学的に考え、多面的、総合的、発展的に考察すること

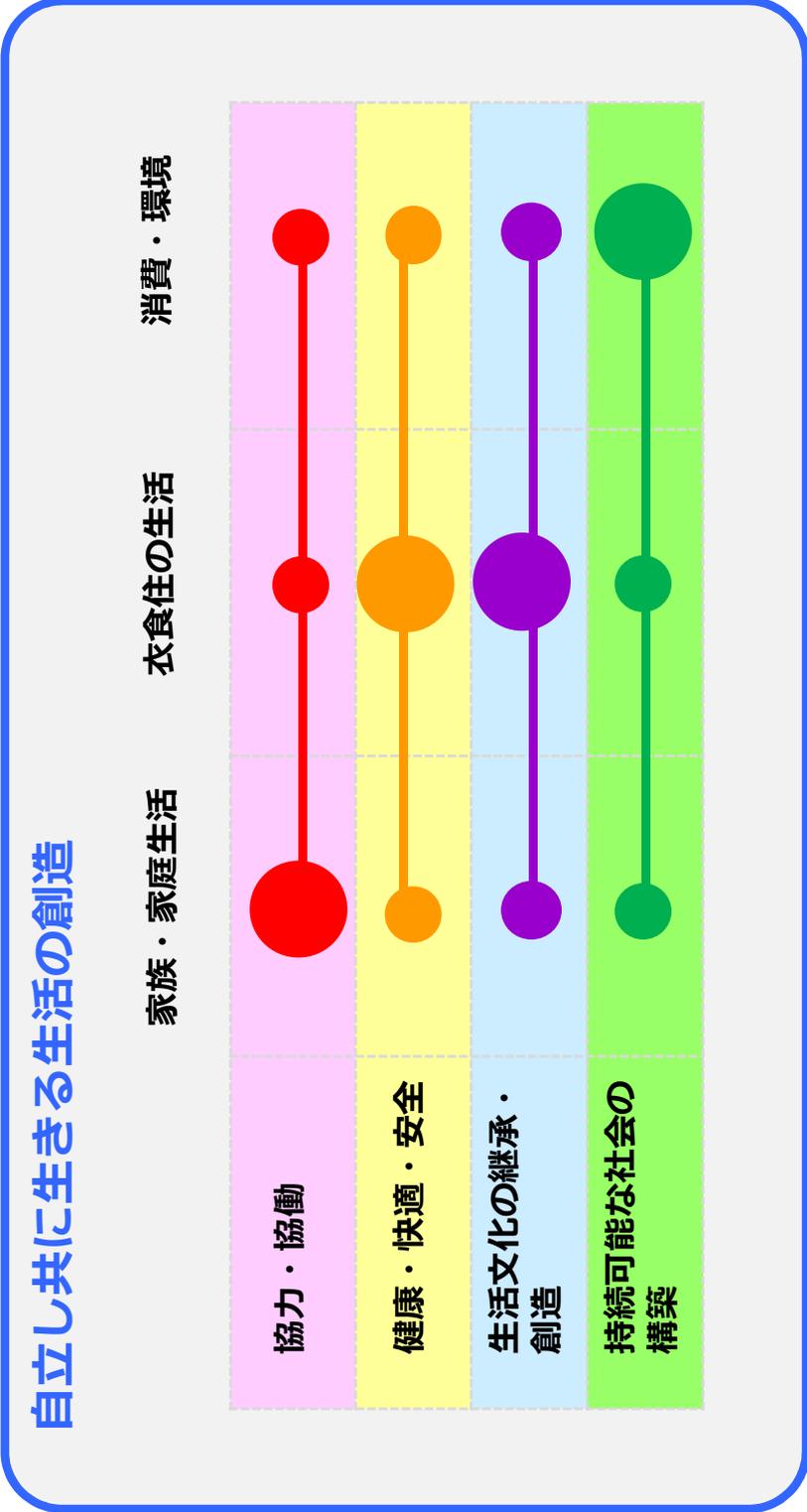
高等学校 理科	自然の事物・現象を量的・関係的、質的・実体的、多様性・共通性、時間的・空間的などの視点で捉え、探究の過程を通して科学的に考え、多面的、総合的、発展的に考察すること
中学校 理科	自然の事物・現象を量的・関係的、質的・実体的、多様性・共通性、時間的・空間的などの視点で捉え、探究の過程を通して科学的に考え、多面的、総合的、発展的に考察すること
小学校 理科	自然の事物・現象を量的・関係的、質的・実体的、多様性・共通性、時間的・空間的などの視点で捉え、問題解決の過程を通して科学的に考え、多面的、総合的、発展的に考察すること

芸術系教科・科目における見方・考え方(案)

平成28年4月26日
教育課程部会
芸術ワーキンググループ
資料2

教科・科目	見方・考え方(案)
小学校 音楽科	音楽に対する感性を働かせて、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で音楽を捉え、音楽的な特徴と、音楽によって喚起されるイメージや感情、生活などとの関わりについて考えること。
中学校 音楽科	音楽に対する感性を働かせて、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で音楽を捉え、音楽的な特徴と、音楽によって喚起されるイメージや感情、生活や社会、文化などとの関わりについて考えること。
高等学校 芸術科(音楽)	感性を働かせて、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で音楽を幅広く捉え、音楽的な特徴と、音楽によって喚起されるイメージや感情、芸術としての音楽の文化的・歴史的背景などとの関わりについて考えること。
小学校 図画工作科	感性や想像力などを働かせて、形や色などを捉えたり、自分のイメージをもったりしながら、他者や社会、自然や環境などとの多様な関係の中で、造形や、心豊かに生きることと造形との関わりについて、創造的に考えること。
中学校 美術科	感性や想像力を働かせて、形や色彩などの造形的な視点で、対象やイメージを捉えるなどして、自己や他者との関わりや、生活、社会、文化などとの多様な関係の中で、心豊かに生きることと美術の関わりについて創造的に考えること。
高等学校 芸術科(美術)	感性や想像力を豊かに働かせて、形や色彩などの造形的な視点で、対象やイメージを幅広く捉えるなどして、自己や他者との関わりや、生活、社会、文化などとの多様な関係の中で、心豊かに生きることと芸術としての美術の関わりについて創造的に考えること。
高等学校 芸術科(工芸)	感性や想像力を豊かに働かせて、形や色彩、素材などの造形的な視点で、対象やイメージを幅広く捉えるなどして、自己や他者との関わりや、生活、社会、伝統と文化などとの多様な関係の中で、心豊かに生きることと芸術としての工芸の関わりについて創造的に考えること。
高等学校 芸術科(書道)	感性を働かせて、書を構成する要素やその関連から生み出される働きの視点で芸術としての書を捉え、文字と書の伝統と文化、歴史的背景、生活や社会、諸文化などとの多様な関わりの中で、書の特質に即して考えること。

○家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係わる生活事象について、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点から解決すべき問題を捉え、よりよい生活の実現に向けて考察すること。



※主として捉える見方・考え方については、大きい丸で示している。
取上げる内容や題材構成等により、どのような見方・考え方を重視するかは異なる。
また、学校段階によって扱うレベルも異なる。

技術・家庭科（技術分野）の見方や考え方の整理（たたき台）

技術分野の見方や考え方：技術によって問題を解決する際の見方や考え方

	対象	見方	考え方
技術分野	生活や社会で利用されている技術について、	物質、生物、エネルギーや情報の特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、安全性、社会からの要求、環境負荷、費用等を踏まえつつ、	材料の生成・成形、エネルギーの変換・伝達、生物の育成環境、情報の処理手順等を評価し、最適なものとなるよう考察すること。
内容A	材料の技術について	材料を構成する物質の特性や材料の組織に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、使用時の安全性、社会からの要求、耐久性や機能、生産効率、環境への負荷、資源の有限性等を踏まえつつ	材料の生成方法を評価し、最適なものとなるよう考察すること。
	加工の技術について	構造、加工の特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、使用時の安全性、社会からの要求、耐久性や機能、生産効率、環境への負荷、資源の有限性等を踏まえつつ	材料の必要な形状・寸法への成形方法、材料の構造を評価し、最適なものとなるよう考察すること。
内容B	生物育成の技術について	育成する生物の成長、はたらき、生態の特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、使用時や消費する際の安全性、社会からの要求、生産のしくみ、環境への負荷、品質・収量等の効率面、生命倫理等を踏まえつつ	生物の育成環境の調節方法を評価し、最適なものとなるよう考察すること。
内容C	エネルギー変換の技術について	電気、運動、物質の流れ、熱の特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、使用時の安全性、社会からの要求、出力、環境への負荷、省エネルギー等を踏まえつつ	エネルギーの変換、伝達、利用する方法を評価し、最適なものとなるよう考察すること。
内容D	情報の技術について	情報の表現、記録、計算の特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、使用時の安全性、社会からの要求、情報の倫理やセキュリティ、活用、管理、システム等を踏まえつつ	情報のデジタル化や計算化による処理の方法を評価し、最適なものとなるよう考察すること。

高等学校情報科における「見方・考え方」

社会、産業、生活、自然等の種々の事象を情報とその結び付きとして把握し、見通しをもった試行錯誤と評価・改善とを重ねながら、問題の発見・解決に向けた情報技術の適切な活用(プログラミング、モデル化とシミュレーション、情報デザイン等)を探究する。

【世界をどのように捉えるか】

事象を抽象化して、情報とその結び付きとして把握

社会、産業、生活、自然
等の種々の事象

解決すべき問題

複数の情報間の結び付き

抽象化された事象＝情報

情報科の特徴

コンピュータや情報社会についてだけでなく、問題の発見・解決の過程や手法そのもの(とりわけ情報技術の活用によるもの)を学ぶ教科

【どのような枠組みで思考するか】

見通しをもった試行錯誤と評価・改善とを重ねながら、問題の発見・解決に向けた情報技術の適切な活用」…選択・活用(プログラミング、モデル化とシミュレーション、情報デザイン等)を探究

「効果的な活用」…解決が可能となるように問題を細分化することや、処理を最適化することなどを含め、コンピュータ等の特性をできる限り生かして問題の発見・解決ができるようにすること

【思考の基礎】

- ・情報の特性、情報技術の特性、問題発見・解決の手法等に関する科学的な理解
- ・情報モラルへの配慮や自らの情報活用を振り返り、評価・改善しようとする態度 等

豊かなスポーツライフの実現に向けた 資質・能力の関係性と見方や考え方のイメージ（検討素案）

平成28年4月28日
体育・保健体育、健康、安全WG
資料7

生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現
スポーツを通じた共生社会の推進

体育の見方や考え方
各種の運動について、その意義や特性に着目し、楽しさや喜びを見出すとともに体力を高め、公正、協力、責任、参画、共画、共生、健康・安全といった視点を踏まえながら、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」等のスポーツとの多様な関わり方について考察すること

- ・自主的に粘り強く取り組む
 - ・日常生活への般化の意識
 - ・ルールやマナーを守る
 - ・よい演技を講ずる
 - ・多様性を認識する
 - ・伝統的な行動の仕方を大切に
 - ・健康・安全を確保する
- など

体育の見方や考え方の育成に当たっては、発達の段階を踏まえ、資質・能力をバランスよく育むことが大切である

行い方や意義等の理解、課題に応じた取り組み方の工夫や関わり方等の考察による知識・判断力・表現力の深まりと思考力・判断力・表現力の高まり

公正・協力・責任・参画・共生の意欲の向上等による多様な関わり方の深まりと思考力・判断力・表現力の高まり

- ・課題を見付ける、見直す
- ・改善すべきポイントを見付ける
- ・適切な練習方法を選ぶ
- ・状況に応じた役割を見付ける
- ・けがの防止を予測する
- ・継続して楽しむための関わり方を見付ける
- ・合意を形成するための関わり方を見付ける
- ・解決方法等を理由を添えて伝える
- ・相手の状況や感情に配慮して伝える など

体育の見方や考え方

思考力・判断力・表現力

技能

知識

往還による知識の深まりと技能の高まり

行い方や意義等の理解、課題に応じた取り組み方の工夫や関わり方等の考察による知識・技能及び楽しさや喜びの深まりと思考力・判断力・表現力の高まり

- ・各種の運動が有する特性や魅力に応じて運動の楽しさを味わうとともに、運動の技能として発揮したり、身体表現したりする

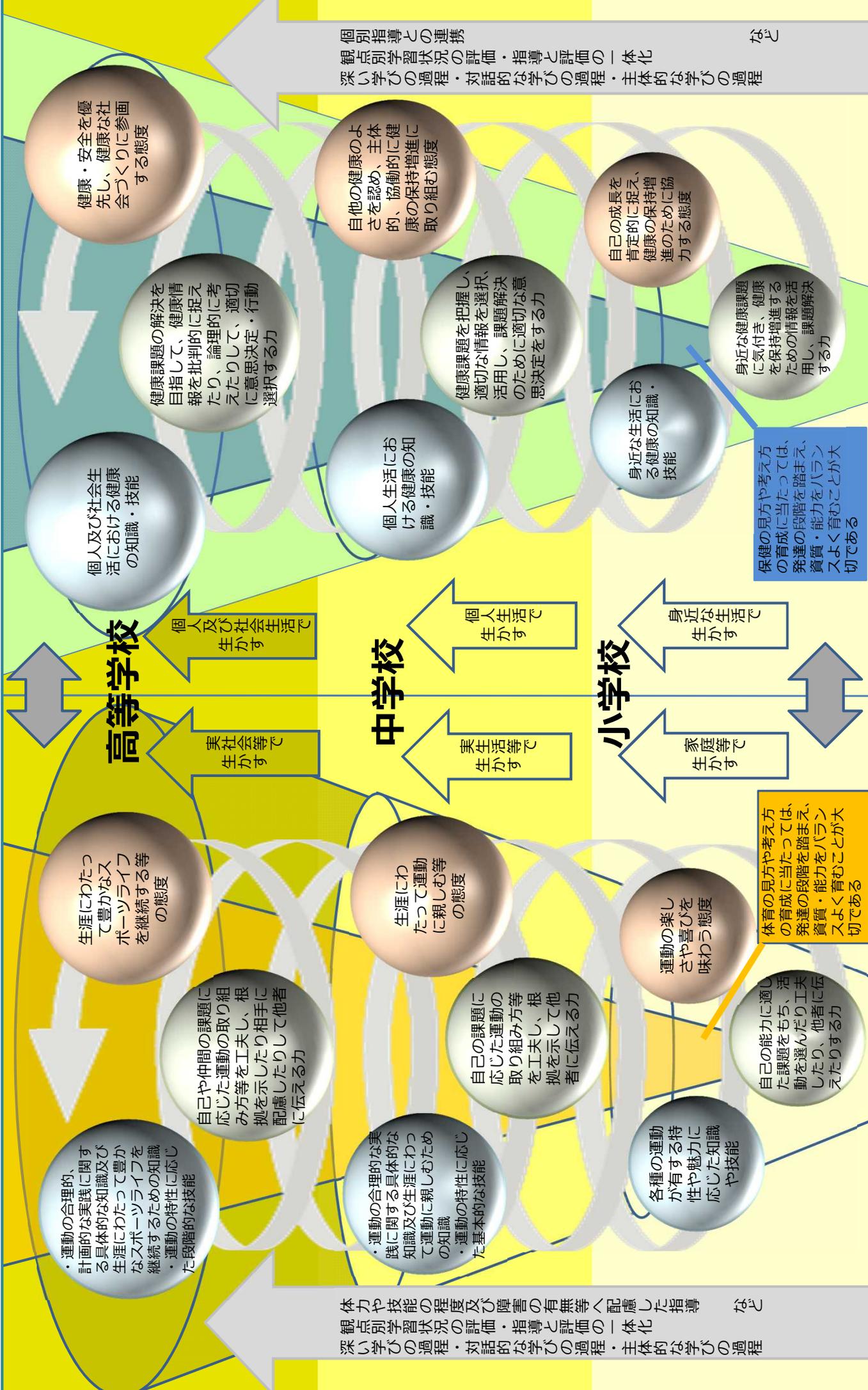
- ・運動の行い方・運動の特性等
- ・運動観察、課題解決の方法
- ・伝統的な考え方
- ・多様な関わり方
- ・体力の構成要素
- ・スポーツの文化的意義 など

※「表現力」は、思考し判断したことを他者に言葉や文字、動作等で表現することとし、「表現運動」等とは異なる

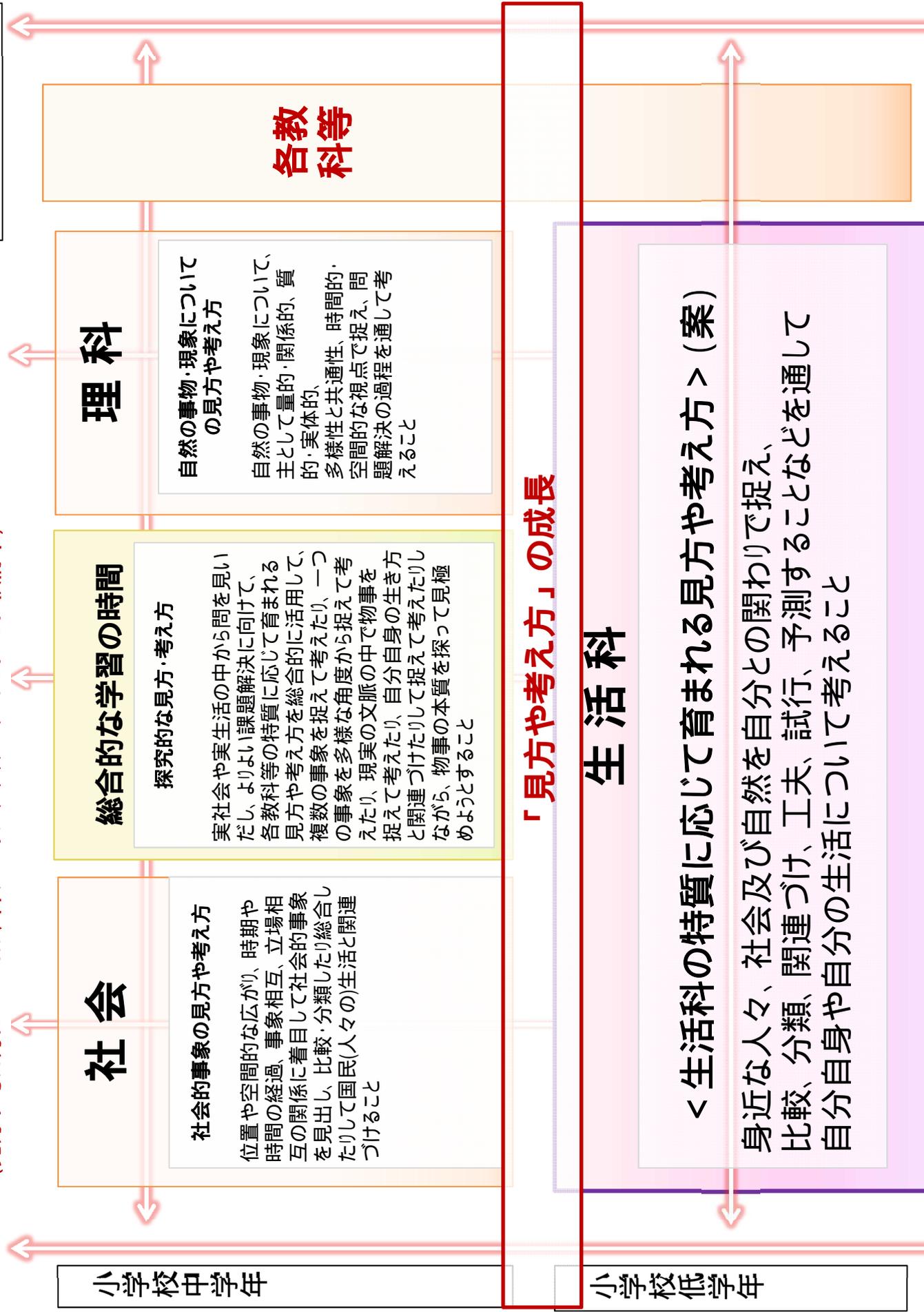
体育科・保健体育科の見方や考え方の育成イメージ（検討素案）

体育科・保健体育科の見方や考え方

各種の運動について、その意義や特性に着目しつつ、楽しさや喜びを見出すとともに体力を高め、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった視点を踏まえながら、自己の適性等に応じて「する・みる・支える・知る」等のスポーツとの多様な関わり方について考察すること
 健康や安全の視点から情報を捉え、心身の健康の保持増進や回復、共生を目指して疾病等のリスクを減らしたり、生活の質を高めたりすることについて考察すること



（見方や考え方については、各ワーキンググループでそれぞれ検討中）



総合的な学習の時間の「見方や考え方」(イメージ・案)

平成28年4月25日
生活・総合的な学習の時間WG
資料3-1

	高等学校	実社会や実生活の中から問を見だし、よりよい課題解決と新たな価値の創造に向けて、各教科等の特質に応じて育まれる見方や考え方を総合的に活用して、 広範かつ複雑な事象を捉えて考えたり、一つの事象を多様な角度から捉えて考えたり、現実の複雑な文脈の中で物事を捉えて考えたり、 <u>自分自身の在り方生き方と関連づけたりして捉えて考えたりしながら、物事の本質を探って見極めようとする</u> こと
総合的な時間の特質に応じて育まれる探究的な見方や考え方(イメージ・案)	中学校	実社会や実生活の中から問を見だし、よりよい課題解決に向けて、各教科等の特質に応じて育まれる見方や考え方を総合的に活用して、 広範な事象を捉えて考えたり、一つの事象を多様な角度から捉えて考えたり、現実の文脈の中で物事を捉えて考えたり、 <u>自分自身の生き方と関連づけたりして捉えて考えたりしながら、物事の本質を探って見極めようとする</u> こと
	小学校	実社会や実生活の中から問を見だし、よりよい課題解決に向けて、各教科等の特質に応じて育まれる見方や考え方を総合的に活用して、 複数の事象を捉えて考えたり、一つの事象を多様な角度から捉えて考えたり、現実の文脈の中で物事を捉えて考えたり、 <u>自分自身の生き方と関連づけたりして捉えて考えたりしながら、物事の本質を探って見極めようとする</u> こと

総合的な学習の時間において
各教科の見方や考え方を使うことで、
多様な文脈で使えるようになるなど、
各教科等の見方や考え方が成長し
各教科等の「深い学び」を実現

各教科等の特質に応じた見方や考え方を
総合的な学習の時間で総合的に活用

国語
言葉で表現したり、理解したりすることを通して、ものの見方や考え方を広げたり、深めたりすること、また、表現したり理解したりすると、仕事の働きや仕組みを捉えること。

算数
事象を数理的に捉え、論理的に考察すること

生活
身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、比較、分類、関連づけ、工夫、試行、予測することなどを通して自分自身や自分の生活について考えること

音楽
音楽に対する感性を動かさせて、音楽を形づくっている要素とその動きの視点で音楽を捉え、音楽的な特徴と、イメージや感情、生活や社会、文化等との関わりを通して音楽活動を通して考えたりすること。

図画工作
感性や想像力等を動かしながら、形や色などの造形的な特徴を捉えるとともに自分のイメージをもつなどして、自分や他者との関わりや、生活、社会等との関係の中で、見たり創造的に考えたりすること。

体育
運動やスポーツについて、その意義や特性に着目しつつ楽しさや喜びを見出し、公正、協力、責任、参画、健康・安全といった視点を踏まえながら「する・みる・支える」等の豊かな関わり方について考察すること

道徳
様々な事象を道徳的価値との関わりで多面的・多角的に捉え、よりよい自己の生き方や在り方について考察すること

特別活動
集団や社会の形成者という視点から様々な諸問題を捉え、各教科等で培った見方や考え方を効果的に活用して、よりよい学級・学校生活や社会及び自己の実現に向けて考察し、実践すること。

※各教科等における「見方や考え方」は各WGにおいて検討中。